

山風

やまかぜ

平成23年7月1日

夏お盆号 第47号

発行：日蓮宗 本立寺

〒192-0902
東京都八王子市上野町11-1

電話 042-622-2262

FAX 042-622-2106

Eメール honryuji@oak.ocn.ne.jp

ホームページ http://www.honryuji.com

復興と諸行無常

住職 及川玄一

梅雨らしい天気が続いています。こんな所にも紫陽花が咲いていたんだと気づくことがいつもの年より多い気がします。

昨日は三月十一日から数えて百日目でした。東京の西部地区にある寺の僧侶が新宿の常圓寺に集まって被災してお亡くなりになった方々の供養をしました。

残念ながらすべてのお檀家さんに案内をさせていただくことはできませんでしたが、何人か本立寺のお檀家さんもお見え下さっていました。

この寺報にも感謝録を掲載させていただきましたが、四十九日のころ、お塔婆供養と義援金を呼びかけさせていただきました。皆さんとても親身になつてご協力下さり、千本以上のお塔婆供養と三百万円を超える義援金をお寄せ下さいました。

お寺では震災後すぐに現地に駆け

つけた仏教系ボランティア団体に支援金として五十万円・宗門に二百万円を寄付しましたが、皆さまからお

預かりしました義援金、卒塔婆のお金は日蓮宗を通じて被災した日蓮宗寺院、お檀家、被災地、仏教系ボランティア団体の四方面に寄付させていただきました。誠にありがとうございました。なお、今後とも様々な形で被災地の支援を継続して参りますので、ご協力をお願いいたします。

お釈迦さまの出生に関しましてはいくつかの説があるので、例えばお亡くなりになって何年ということもおおよそという言葉が付けられることが多いのですが、小乗仏教の世界ではお釈迦さまはお悟りになつて今年を二六〇〇年の記念の年としています。

縁あって、先般スリランカの僧侶が開催したそのお祝いに出席しました。その時にスリランカの長老からお話を聞かせて頂

お仏壇そうじをして清々しくご先祖さまと過ごしましょう。
お盆中(7月13日〜16日)は、境内でお花・お線香を販売しています。どうぞご利用下さい。

お盆案内

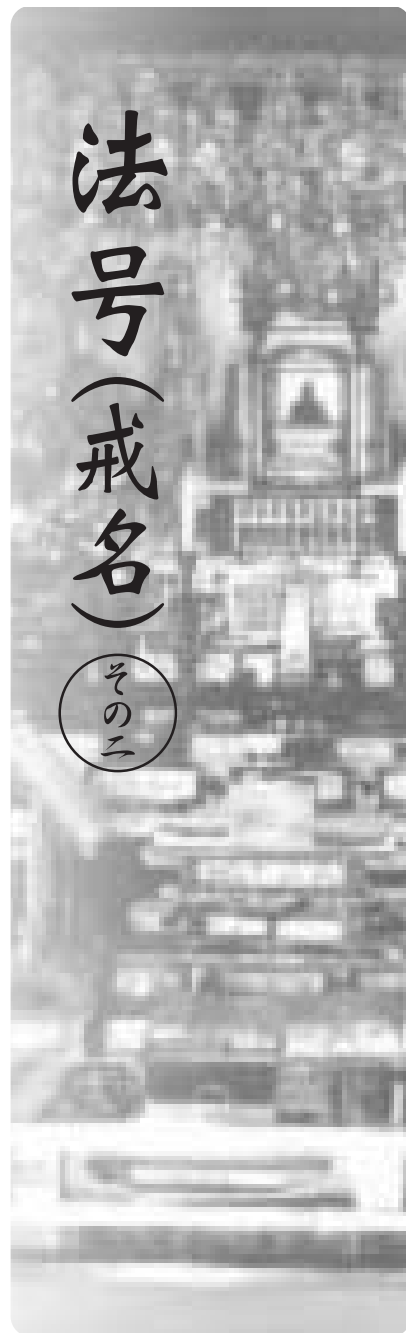
いたのですが、このようなことをおっしゃいました。

「仏教では諸行無常を説きます。ですから今般の震災に当たって復興という言葉を聞くと抵抗を感じるんです」と、確かに新聞でもテレビのニュースでも毎日のように復興という言葉が聞きます。震災から立ち上がる、もとの生活を取り戻すという意味では復興です。でも、「生活、人生の何かを失ったとき、元に戻るはありません。その事実を受入れながら前に進む、新しいものを創り出す。なぜならすべては無常なものだから」と長老は言つたのです。

復興、復興と叫ばれている世の中で、聞きよふによつては否定的にとられかねないことをあえて仏教の僧侶の立場としておっしゃられたそのお言葉に私は感動し、大事なことを教えられた気がしました。



永代供養塔前のブドウの花が咲きました。9月頃に甘く実ることでしょう。お参りの際、探してみてください。



法号(戒名)

その二

「戒名料」については、戒名のお話しをするときによく尋ねられる質問です。インターネットや書籍などで戒名を調べてみると、その傍には「ネットのほうに」「戒名料」という言葉が並んでいます。このことから「戒名には料金設定がある」という誤解が、広まっていることを強く実感します。

しかし、戒名(法号)というのは前号でお話ししたとおり、お金を支払って買うものではなく、仏さまから授かるものです。それでは、葬儀の際にお金を包み、僧侶に渡しているのは何なのだろうか。それは「料金」ではなく「布施」です。つまり、僧侶の読経や戒名を得るための対価(お礼)ではなく、仏さまへのお供えであり自身の修行でもあります。

「」で少し「布施」について考えてみましょう。「布施」とは、相手のために出来る限りの事をするという仏道修行の「一」(布施行)です。また、布施は「喜捨」とも言います。文字通り「喜んで捨てる」(施す)のが布施です。とは言うものの、自身が持っている大切なものを喜んで施すことは、執着心という誰もが抱く気持ちに邪魔され、容易ではありません。布施はこの執着心を捨てる修行でもあります。現在ではお金を施すことが主となっていますが、昔は作



物やその他の品物でした。これらを財施と言います。

また僧侶の読経や説法も同じく布施です。これは法施と言います。布施をすることで功德(栄養)を蓄え、その功德を仏さまにお供えし、故人へと手向けていただきます。葬儀や年回法要では、このように皆さまと僧侶の双方が互いに「出来る限り」を施し合い、故人を供養しています。修行であり、供養である「布施」は、仏教においてとても大切に尊い行いと考えられています。

聞くところによると、「布施はいくら、戒名料はいくら」と金額を設定しているところもあるようです。本立寺では「お気持ちで結構です」とお伝えしていますが、ややもすれば、明確な金額が決まっていた方が、分かりやすく良いと思われるかもしれません。しかし、それでは布施ではなくなっています。はつきり申し上げますと、布施や戒名の金額が決まっている「」をはじめ、今回のテーマである「戒名料」という言葉などは、本来あってはいけないのです。「」のような誤解は、僧侶の説明不足が大きく影響している反省しています。仏さまの教えに沿った正しい見解をより多くの方にお伝えできる「」層努めて参ります。次回も「布施」についてもう少しお話しします。

平成22年度 本立寺護持会決算報告

(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

護持会加入軒数 704軒
総口数 2,264口
(1口：1ヶ月200円)

収入	5,010,800円
支出	5,152,142円
宗派課金	1,382,376円
墓地・境内清掃、整備	2,817,602円
寺報・通信費	952,164円
差引(不足)	141,342円

以上に相違ありません。
本立寺住職 及川 玄一

皆様よりお預かりいたしました護持会費の
会計報告をいたします。

護持会費は、お寺の維持管理のために上記
のような項目で支出させていただいておりま
す。今後、なお一層のご協力をお願い申し上
げます。

なお、不足分につきましては、お寺の一般
会計より支出しております。



法要後、落語で会場を沸かせる柳家はん治師匠

4月8日恒例の花見題目講(釈尊
降誕会)が行われました。大震災の

花見題目講



影響で多くのイベントが中止されて
いますが、釈尊降誕会はお釈迦様の
ご生誕をお祝いする大切な行事であ
り、同時に今回の大震災でお亡くな
りになった方々への供養も必要と考
え開催致しました。宴席では強い風
も吹きましたが、温かく春の行事を
終えることが出来ました。

奉納御礼

水桶 三個

草加市

内田 裕久

和帳 三冊

山形屋紙店

大切にに使わせていただきました。

東日本大震災 義援金 並 慰霊塔婆

3月11日に発生した東日
本大震災による甚大な被
害に対し、皆さま様々な
形でその支援に取り組ま
れていることと思います。
本立寺では、大震災の犠
牲となられました方々の四
十九日忌にあたる4月28日
に合わせ、義援金と慰霊
のお塔婆を募集しました
ところ、この紙面に感謝
録を掲載させていただきました
ごとき、大変多くの方
がご協力下さいました。



誠にありがとうございました。

しかし、今回の大震災には長期に
わたる支援が必要です。今後も本
立寺では義援金の寄付と慰霊塔婆
による供養を継続して参ります。今

号の「山風」にも義援金・慰霊塔婆
の申込書兼振込用紙を同封させて
いただきましたので、お志をお寄
せいただけましたら、ありがたく存
じます。

ニュージーランドでの震災が東日
本大震災の陰に隠れてしまいました
ように、時が経つにつれて新しい出
来事に意識が向き、過去の出来事の
記憶は薄れてしまいがちです。ど
うぞ心がけて継続的な支援をお願い
いたします。

本立寺から宗門及び関連NGO・NPO
団体を通じての被災地への義援金

- ・義援金 3,016,000円
- ・お塔婆 1,063本 = 1,063,000円
- ・本立寺通常会計より 2,500,000円

合計 6,579,000円
(6月1日現在)

当山 施餓鬼会

当山では、お盆の最後の日、7月16日にお施餓鬼の法要を営みます。多くの方のご参拝をお待ちしています。詳しくは別紙をご参照下さい。

7月16日(土)

午後12時30分 お齋膳おとま

1時30分 法話

2時30分 法要

とうろう流し

八王子の夏の風物詩とも言える「とうろう流し」。今回で18回目となります。夏の夕べ、皆さんも川面に浮かぶ灯ろうに想いを込めてみませんか。

日時 7月17日(日)

摩天楼法話会

今年も摩天楼法話会(日蓮宗東京西部社教会主催)が新宿常圓寺で開催されます。どなたでもご参加いただけます。お友達を誘ってぜひおいで下さい。参加費は千円です。お申し込みは不要です。直接会場(常圓寺祖師堂)へお越し下さい。なお、本年は参加者層拡大のため、初めの法話を仏教基礎講座とし午後7時から行い、その他の3回を今までどおり午後2時から行います。講師並びに日程は以下の予定になります。

和太鼓・よさこいソーラン
(午後3時30分)

東日本大震災犠牲者追悼法要
(午後6時30分)

場所 八王子市役所前河川敷広場
とうろうを希望されます方は、事前にお寺、もしくは当日会場にてお申し込み下さい。



メインテーマ『ブツダ』

第1回 8月30日(火) 午後7時

「とうろうってこんなに苦しいの？」
(仏教基礎講座)
講師 金子朋史先生

第2回 9月26日(月) 午後2時

「仏さまは目覚めた人」
講師 及川真介先生

第3回 10月31日(月) 午後2時

「蓮華に学ぼう」
講師 橋高智光先生

第4回 11月28日(月) 午後2時
「お釈迦さまからのメッセージ」
講師 ひろさちや先生

読経教室

読経教室の秋の部が開催されます。初級では、お経を読むときの姿勢、声の出し方、正しい合掌などの基礎を中心に、「法華経」の意味や読み方を学びます。ぜひ、お申し込み下さい。修了された方の再受講も大歓迎です。(中級は初級修了者対象)

読経教室 初級(全5回)

- 1回 10月16日(日) 2回 10月23日(日)
- 3回 10月30日(日) 4回 11月6日(日)
- 5回 11月13日(日)



読経教室 中級(全5回)

- 1回 10月18日(火) 2回 10月25日(火)
- 3回 11月1日(火) 4回 11月8日(火)
- 5回 11月15日(火)

暦

こよみ

7月(文月)

- 2日 読誦行(午後2時)
- 7日 写経会(午後2時)
- 11~15日 お盆 棚経
- 16日 「施餓鬼会」
- 17日 八王子とうろう流し
- 22日 読誦行(午後2時)

8月(葉月)

- 2日 読誦行(午後2時)
- 4日 写経会(午後2時)
- 12日 題目講(午後7時)
- 13~16日 旧盆
- 22日 読誦行(午後2時)
- 27日 松葉谷法難会

文応元年(二六〇)日蓮聖人は鎌倉松葉谷の草庵で念仏者達に龍撃される。

9月(長月)

- 1日 写経会(午後2時)
 - 2日 読誦行(午後2時)
 - 12日 題目講 龍口法難会(午後7時)
- 文永八年(二七二)日蓮聖人は龍ノ口にて処刑されそうになり、その後佐渡に流罪となる。
- 20~26日 秋彼岸

※7月は12日の題目講・9月は22日の読誦行がありません。ご注意ください。

